

今年は年明けより厳しい寒波が何度か到来しましたが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。本号では、新しくなりましたMRIについてのお話などお伝えします。最後までご覧いただければ幸いです。

MRI装置が新しくなりました！

今年1月18日より2月11日の間でMRIを更新しました。更新にあたりMRI本体部分に強力な磁石を含むことより、鉄などの磁性体による干渉や電子機器類等への影響がないように注意を払いながらの作業となりました。また、更新作業ではMRI本体の搬出と搬入について機器の分解が不可能なためMRI室の壁を一部取り壊し新しい装置を搬入後に改めて壁を作るという大がかりな作業となりました。

新しく導入した装置は更新前の装置と同じく**オープンタイプのMRI**です。MRI検査をしている際に患者様の横が開いていることで開放感があり、検査中は装置からの圧迫感が軽減されます。閉所恐怖症の患者様も検査可能な場合があります。オープンタイプMRIの特徴の一つと言えます。

当院では関節リウマチや整形外科の患者様を中心に症状に合わせて必要な部位を検査します。痛みのある部位や受傷された部位をMRIを使って画像化することで、より診断に役立つ場合が多いことより非常に有用な検査といえます。検査の必要性は医師の判断となりますが、気になることがありましたら医師にご相談されてはいかがでしょうか。

診療技術部 放射線科 部長 田上



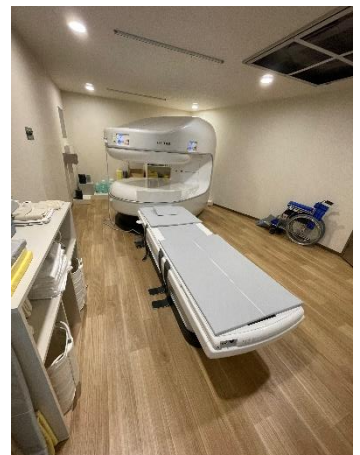
既存装置を磁石部分のみとする分解作業



磁石部分を取り壊した壁から搬出



磁石部分(十数トン)を大型クレーンにて搬出



取り壊した壁（左側）を元に戻し、新しい装置を設置して完了

受診時はマイナンバーカードをお持ちください。

現在の保険証は、有効期限まで利用可能ですが、マイナンバーをお持ちの方は、マイナンバーで受付をお願いいたします。今までに使ったお薬の情報や過去の健診結果が医師と共有することができます。どうぞご協力をお願いいたします。



外来担当表は裏面に記載しています

外来担当表

		月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~ 12:00)	整形外科 リウマチ科 リハビリテー ション科	松原	奥田	松原	松原	奥田	
		前田		前田	亀長	栖田	
	一般内科 リウマチ科 (膠原病)	小林 (一般内科)	塩沢	小林 (一般内科)	塩沢	小林 (一般内科)	

午後 (15:00~ 18:00)	整形外科 リウマチ科 リハビリテー ション科	奥田	前田	荒木 (一般整形)	/	奥田	
			奥田 (痛み外来) ※完全予約制				
	一般内科 リウマチ科 (膠原病)	井上 (一般内科)	小林 (一般内科)	小林 (一般内科)		小林 (一般内科) *オンコール	

午前	内視鏡検査	井上					
午後							

* 初診の方は、出来るだけ受付終了30分前までにご来院ください。

リレーエッセイ ～リウマチ財団登録理学・作業療法士編～

関節リウマチ患者様や新たに関節リウマチと診断を受けた患者様のQOLについて

関節リウマチ患者様のQuality of life : 生活の質 (以下QOL) を改善するには、薬による治療や日常生活の管理、歩行補助具の使用などが有効とされています。治療としては専門医が処方する薬剤によって病気の活動性をコントロールして関節破壊の進行を抑制する、痛みや腫れをとる、骨・関節破壊の進行を抑える、リハビリテーションが挙げられます。



リハビリテーションとQOLの改善について

QOL向上のためにはまず、日常の生活動作 (ADL) を細かく観察し、制限されている動作を分析し制限因子を見つけていきます。炎症症状が落ち着いていれば、可能な範囲でリハビリを実施します。特に筋力が落ちてしまうとQOLが下がってしまうため、筋力の維持・向上訓練を重点的に実施します。また、筋力を発揮するために必要な関節の可動域維持・拡大訓練を行います。動作訓練を行い、ADL制限の要因となっている動作の改善を図ります。歩行による移動能力もQOLの維持向上に重要なため訓練を行っています。疼痛や病期の進行度合に合わせて、歩行補助具の選定を行っています。また、ADLに障害がある場合、自助具の提案や選定を行います。例えば、体幹や下肢の柔軟性低下や手指の巧緻動作 (細かい運動) が難しい患者様で靴下を履く際にソックスエイドという補助具を使用します。手指の変形や握力の低下でコップを落としてしまう場合はホルダーを使用するなど。筋力訓練、動作訓練だけではなく歩行補助具や自助具の選定にも介入し患者様本人やご家族のQOL向上を目指しています。

理学療法士 野崎春香

編集後記



いよいよ4月13日より万博が開催されます。パビリオンの中でも、大阪ヘルスケアパビリオンのテーマは「健康・医療」。リボーン体験では、現在の健康データをもとに映し出される25年後の自分 (アバター) と会えるそうです。わくわく感よりこわく (恐々) 感? が上回りそうですが、今の生活習慣を見直すきっかけになるかもしれません。(K.K)



2025年3月発行 発行元：松原メイフラワー病院 〒673-1462 兵庫県加東市藤田944番地25

TEL : 0795-42-8851 (代) FAX : 0795-42-8857

E-mail ▶ info@mayflower-hp.jp

HP ▶ http://www.mayflower-hp.jp/

